

I 小樽市保健師のキャリアパス

年齢	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61~65											
経験年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38												
保健師区分	新任前期			新任後期		中堅前期					中堅後期					(プレ管理)										管理期 (係長・主査) 										(管理職) 統括保健師・統括保健師補佐														
保健師(管理職)キャリアアラダー区分	A-1			A-2					A-3 (一人前) 					A-4					A-5										A-3,4 もしくは B-1																					
											B-1					B-2					(主査以上は、B-1からスター										B-3					B-4														
O J T	人材育成	プリセプターから指導を受ける					プリセプターとして指導する実習指導					プリセプターを支援する					熟達した知識や技術を後輩保健師へ指導 管理期の保健師としての技術獲得 所内現任教育の推進										所内現任教育体制整備																							
	事例管理	相談・訪問記録の管理					サービスの調整					支援チームの編成と役割分担					事例管理の仕組みづくり																																	
	地区管理	担当業務を通じた地区診断										庁内で共有できる仕組みづくり																																						
	事業・業務管理	担当事業を実践					担当事業の企画・実施・評価					担当業務の管理(計画・評価・進捗管理)					業務改善(見直し、提案)										業務改善(体制づくり、所内調整)																							
	健康危機管理	関係法令・マニュアルの確認					フェーズごとの保健活動、組織内での役割の確認					看護系学生の実習指導助言者										平常時からの準備										支援・受援体制の整備																		
ジョブローテーション	採用後、原則健康増進課またはこども家庭課に配属し、精神・難病・結核(感染症)、母子保健などの個別支援を早めに体験できるようにする										特定保健指導業務を可能な限り経験する										新任後期以降は(A-2)、本庁の部署への移動を経験する																													
O F F I C I E	専門研修	新任保健師研修(道主催)					中堅保健師の人材育成研修(道保協主催)					実習指導者講習会					北海道・市町村保健師リーダー研修会																																	
	領域別研修	精神、難病、感染症、結核、母子に関する研修										地域包括ケア、健康づくり・生活習慣病対策等に関する研修										統括保健師研修(統括保健師・次期統括保健師) 																												
	道外研修	結核・母子 難病・精神					公衆衛生看護研修(中堅期)					公衆衛生看護研修(管理期)					公衆衛生看護研修(統括保健師)																																	
自己研鑽	学会や各種勉強会(任意)への参加					学会へ参加し活動発表・報告					学会発表への助言(後輩へ自己研鑽の機会を与える)					学会発表の所内体制づくり																																		
	他自治体保健師や他の所属保健師との交流、多様な価値観の保健師や他職種との交流(職能団体・会に係る活動)																														・学会報告 及び支援 ・学会参加																			